

## ④8 いしかわ動物園 トキふれあいセンター建設工事

受賞機関 石川県 土木部 営繕課

## 全建賞審査委員会の評価ポイント

特別天然記念物トキの一般公開を目指し、自然に近い環境を意識した飼育ゲージ内で生態を観察できるように施設整備した事業。トキの飼育環境に配慮するとともに、来場者に対してもバリアフリーの配慮をしつつ、より自然に近い環境の様々な場面でのトキを観察できるように工夫されていることを評価。

## 1. はじめに

本州最後のトキの生息地である本県はトキにゆかりの深い県であり、国が策定したトキ保護増殖事業計画に基づき、平成20年には石川県トキ保護増殖事業基本計画を策定し、分散飼育地となり、トキ繁殖の一躍を担ってきた。今回の公開施設の整備は、これらの経緯を踏まえて、トキ公開のためのケージと観覧通路、学習施設を新たに建設し、平成28年11月19日に【トキ里山館】として一般公開に至った。



古民家内へ誘う雰囲気のエントランス

## 2. 施設の特徴

施設の整備にあたっては、平成26年に環境省が策定した「分散飼育地におけるトキの一般公開にあたっての諸条件及び手続きについて」を遵守し、設計及び工事を進めた。施設の特徴は以下の通りとなる。

## (1) トキが棲む里山の景観を再現

ケージ内は中央部に柱を設けず、安全に自由にトキが飛翔できる空間を確保するとともに、トキが棲む里山の景観を再現し、自然下に近いトキを観察できるようにした。

## (2) 里山を連想させる古民家風デザイン

エントランスや観覧通路を古民家風の腰壁としっくい塗り風のデザインとし、来館者をトキの棲む里山に誘い入れ、古民家の軒先からトキを観察するような雰囲気を出した。

## (3) バリアフリーへの配慮と効果的な観覧

傾斜のある地形を活かし、低い位置から高い位置まで多様な視点でトキを観察できるような構成とし、入口から出口まで通路に段差を設けず、子供からお年寄りまで無理なく観覧できるように配慮している。

## (4) トキの観察と学習を一体的に行えるよう配慮

繁殖ケージ整備時にケージ内をリアルタイムで見ることが出来るモニターなどを95設置した動物学習センターの展示機能を、今回新たに公開ケージに併設整備した学習センターに移設し、体験型の展示を充実させ、トキの観察と学習を一体的に行えるようにした。建物は木造とし、外観は古民家風、内部も板張りとし里山の雰囲気を作り出している。

## 【施設諸元】

延べ床面積	907㎡	ケージ最高高さ	13.2m
うち 公開ケージ	510㎡		
観覧通路	248㎡		
管理棟	83㎡		
学習展示コーナー	66㎡		



トキの飛翔に支障とならないよう、無柱空間とした放飼場

## 3. おわりに

平成28年11月の一般公開以来、県内外から多くのお客様が生きたトキの姿を見に訪れ、来園者が比較的少ない冬場の動物園でも賑わいをもたらしている。

いしかわの空を優雅に飛翔するトキの姿を想像しつつ、当施設の整備が里山里海の利用・保全に繋がっていくことを願っている。